

公の施設目標管理シート（直営）

センターの運営業務を受託している「新潟市市民活動支援センター運営協議会」の事務局スタッフ5名がローテーション勤務。常時2名のスタッフを配置。

問合せ先 025-226-1102

年度	平成29年度		
施設名	新潟市市民活動支援センター	所管部・課	市民生活部市民協働課
施設の設置目的	市民が、営利を目的とせず、不特定多数のものの利益の増進に寄与するために行う活動（市民公益活動）を支援するため、市民活動支援センターを設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H29.5.31
歳入	438	正職員		修正日	
歳出	27,531	非常勤		評価日	H30.6.18

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	活動に関する相談や活動の場の提供を行う市民活動支援センターを通じてNPO活動を支援し、市民との協働によるまちづくりを進めます。	センター利用登録団体数(団体)	354	246	263	280	280	H27-H28純増17団体+3団体=20団体純増を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の活動毎の支援 市民活動団体立ち上げに関する支援 志縁団体と地縁団体の協働支援 		B:達成
2	市民		センター利用者数(人/日)	58.8	62.0	57.6	63.5	58	H29目標:年間22,820人/359日(にいがた未来ビジョン実施計画目標)		H27年度末に、3年に1度の利用登録の更新を行い、更新しなかった団体があるため。	C:未達成
3	市民		センターホームページアクセス数(件/年)	37,562	66,719	70,759	72,811	65,608	前年度比3%増を目標とする。		H28にホームページのリニューアルを行ったことで、アクセス数が大幅に増えたため。	C:未達成
4	市民		センターホームページユーザー登録数(ID/パスワード発行団体)	49	64	83	98	97	15団体増を目標とする。		概ね目標を達成しているため、評価は「B:達成」とする。	B:達成
5	市民		主催事業等参加者数(人)	3,402	3,063	3,061	3,152	3,699	個別相談、古町どんどん等イベント、スキルアップ講座 前年比3%増を目標とする。		イベントの集客に力を入れたことにより、古町どんどんの参加者が大幅に増加した。	A:達成(優)
6	市民		他団体協働事業コーディネート件数(件)	86	94	92	96	81	古町どんどん、ロゴタイプ作成、キッズフェスタ、コミ協とのマッチングイベントの参加団体数。 前年度比5%増を目標とする。		古町どんどんに参加する団体が減少したため。	C:未達成
7	財務		施設稼働率(%)	40.7	47.8	44.6	48.0	49.5	(利用実績)/(利用可能コマ数)			B:達成
8	財務		利用者一人当たりコスト(千円)	1.37	1.28	1.33	1.21	1.31	(総事業費)/(利用者数)		H27年度末に、3年に1度の利用登録の更新を行い、更新しなかった団体があるため。	C:未達成
9	業務		利用者懇談会開催数(回)	10	3	1	2	2	会員交流・研修会			B:達成
10	人材		スタッフ能力向上のための研修会参加数・勉強会開催数(回)	54	58	45	64	43	H29目標:スタッフ勉強会22回、スタッフ会議40回、防災講習会1回、救命講習会1回		予算の関係でスタッフ会議を減らしたため。	C:未達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
豊かな地域社会を実現するには、市民の創意と工夫を活かすことが必要です。市民活動支援センターを通じて市民団体が行う様々な公益活動の支援を行います。	利用者が目標を達成できなかった。これは、平成27年度に利用登録団体の定期更新を行ったことが影響したもので、やむを得ない部分がある。新潟市市民活動支援センターは、開設から10年以上が経過している。そのため、センターに求められている機能や役割について改めて整理する必要があると判断し、平成28年度に新潟市市民活動支援センターのあり方検討委員会を開催した。委員会からは、広報の徹底や相談機能の強化など、さまざまな提言を盛り込んだ報告書をいただいた。今後はこの報告書を基に、利用対象者の拡充に取り組む。